

警 察 署 協 議 会 議 事 要 旨

協 議 会 名	宮城県岩沼警察署協議会
開 催 日 時	令和2年12月1日(火)午後3時56分から午後5時05分まで
開 催 場 所	岩沼警察署 大会議室
出 席 者 等	1 協議会委員 9名 2 警察署側 11名
	<p>【事業説明】</p> <p>1 管内の治安情勢について(署長)</p> <p>刑法犯の認知件数・検挙状況(10月末暫定値) 前年同期比で認知件数、検挙件数、検挙人員全て減少している。 非行少年等の検挙・補導状況(10月末暫定値) 不良行為少年267件(前年同期比+63件) 交通事故発生状況(10月末暫定値) 前年同期比で人身・物損事故件数、死者数・負傷者数全て減少している。</p> <p>管内の交通事故の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発生路線別は、約3割が国道4号で発生 ・ 道路形状別は、約半数が交差点及びその付近で発生 ・ 事故類型の約半数が追突事故 <p>その他の質疑</p> <p>委員から、「青少年健全育成会での巡回において、不慣れなことから、声掛けができない。どのように声掛けを行ったらいいのか、伺いたい。」との質問がなされ、生活安全課長から、「ゲームセンターでの補導対象少年の声掛けが多いと思うが、午後6時以降でも、保護者が同伴しているか確認していただき、ソフトな声掛けをお願いしたい。」署長から、「関係機関の皆様が巡回しているだけで、見せる防犯活動となるので、今後も継続していただきたい。」旨の説明を行った。</p> <p>【警察署の業務に関する意見の聴取等】</p> <p>1 警察署から警察署協議会への説明事項</p> <p>特殊詐欺抑止対策について(生活安全課長) 特殊詐欺の認知状況や発生状況に応じた被害抑止対策、今後の被害抑止対策について説明を行った。</p> <p>2 警察署協議会からの意見要望等</p> <p>各委員から、これまで委員宅にあった、特殊詐欺の予兆電話について紹介し、委員が把握している地域住民の特殊詐欺対策として、「高齢者宅の多くでは、「録音する」というメッセージが流れるようにしており、特殊詐欺の抑止対策が浸透していると感じている。」、「常時留守番電話にしておき、無言電話であれば電話番号を拒否登録している。」との意見が出された。</p> <p>委員から、「迷惑電話撃退装置付き電話の効果や撃退装置を取り付けていても被害にあった事例や、詐欺の電話やメールが来ても被害に</p>

遭わなかった事例はあるのか。また、詐欺と思われる連絡があった場合に、どこに相談すればよいのか。」との質問がなされ、生活安全課長から、「これまでの事例では、金融機関で高額現金を引き出そうとしたところ行員が不審に思い、家族に連絡しオレオレ詐欺である事が判明し、被害に遭わなかった事例がある。また、警察で撃退装置を貸し出している被害は、現在のところ確認されていない。詐欺と思われる電話やメールがあった場合は、迷わず警察に連絡をしていただきたい。」旨の説明を行った。

【その他の意見等】

- 1 委員から、「10月から11月にかけて、T字路交差点で警察官が街頭監視を行っていた。警察官が立っているだけで緊張感があり、付近住民は、より安全運転に努めたので良かった。」との意見が出された。
- 2 委員から、「岩沼市中央4丁目の志賀街道踏切の交差点で、交通事故があり反射材が壊れている。踏切も歩行者が歩きにくく危険であると思う。」との意見がだされ、署長から、「同交差点及びJR軌道内は危険箇所として把握している。現在、対応を検討中である。」旨の説明を行った。